

平成30年度飛騨支部研修会報告

日時：平成30年11月25日（日曜日）9：00～12：00

場所：J A岐阜厚生連久美愛厚生病院 2階 会議室（久美愛ホール）

参加人数：26名

テーマ：「褥瘡と理学療法の関わり」

講師：下呂温泉病院 認定理学療法士 大森 智泰 先生

近年全国的に高齢社会が進行する中、飛騨地区でも病院、施設などでも高齢化による様々な問題がみられます。中でも実際の臨床の現場で、寝たきりや術後などによる褥瘡の予防、管理、治療などと向き合う場面も少なくありません。

そこで今年の飛騨支部の研修は理学療法士として臨床の場面で褥瘡に対してどう関わるかをテーマに、認定理学療法士（褥瘡・創傷ケア）の下呂温泉病院大森智泰先生に講師をお願いしました。当日は県内だけでなく、県外からも飛騨支部の研修会に興味を持って参加いただきました。3時間の研修の中で、褥瘡の定義、メカニズムなどの基礎知識から、褥瘡の評価、治療や予防など丁寧に分かりやすい講義を自分の体験談を交えながら分かりやすく講義を進めてもらえました。また、講義の後に実際にギャッジアップ、シーティングの患者体験や、除圧、ポジションニングの仕方など実技と講義を入れながら研修が進みました。講義はテンポ良く進み、実技時間も長めに設定していたため、時間の余裕もあり参加者皆さんリラックスして楽しく参加出来ているようでした。最後には実技を交えながら和やかな雰囲気です質問応答がおこなわれ解散となりました。

来年度も飛騨支部では出来るだけ沢山の皆さんに参加してもらい、実戦で活用できるような研修会を行いたいと思っています。皆様の参加をお待ちしています。

文責：飛騨支部学術担当 桐山伸也

